

法人単位資金収支計算書
(自) 令和 5年 4月 1日 (至) 令和 6年 3月31日

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考	
事業活動による収支	収入	介護保険事業収入	6,033,019,600	6,039,149,898	-6,130,298	
		老人福祉事業収入	194,167,600	194,878,711	-711,111	
		借入金利息補助金収入	39,540,637	39,559,836	-19,199	
		経常経費寄附金収入	500,000	500,000	0	
		受取利息配当金収入	95,946	94,692	1,254	
		その他の収入	48,332,000	48,229,580	102,420	
		事業活動収入計(1)	6,315,655,783	6,322,412,717	-6,756,934	
	支出	人件費支出	3,833,301,699	3,826,820,440	6,481,259	
		事業費支出	955,637,567	943,783,225	11,854,342	
		事務費支出	728,574,581	721,418,961	7,155,620	
		利用者負担軽減額	30,224,000	29,131,508	1,092,492	
		支払利息支出	82,788,442	81,638,022	1,150,420	
		その他の支出	21,736,000	22,171,597	-435,597	
		流動資産評価損等による資金減少額	0	1,020,943	-1,020,943	
事業活動支出計(2)	5,652,262,289	5,625,984,696	26,277,593			
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		663,393,494	696,428,021	-33,034,527		
施設整備等による収支	収入	施設整備等補助金収入	54,503,296	54,418,598	84,698	
		施設整備等収入計(4)	54,503,296	54,418,598	84,698	
	支出	設備資金借入金元金償還支出	668,413,000	668,413,000	0	
		固定資産取得支出	726,320,614	726,885,298	-564,684	
		施設整備等支出計(5)	1,394,733,614	1,395,298,298	-564,684	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)		-1,340,230,318	-1,340,879,700	649,382		
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	6,786,000	6,696,778	89,222	
		その他の活動による収入	6,123,662	6,130,042	-6,380	
		その他の活動収入計(7)	12,909,662	12,826,820	82,842	
	支出	積立資産支出	9,848,300	9,944,442	-96,142	
		その他の活動支出計(8)	9,848,300	9,944,442	-96,142	
		その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	3,061,362	2,882,378	178,984	
予備費支出(10)		0	—			
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		-673,775,462	-641,569,301	-32,206,161		
前期末支払資金残高(12)		946,320,905	946,320,905	0		
当期末支払資金残高(11)+(12)		272,545,443	304,751,604	-32,206,161		

法人単位事業活動計算書
 (自) 令和 5年 4月 1日 (至) 令和 6年 3月31日

(単位：円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)	
サービス活動増減の部	収益	介護保険事業収益	6,039,149,898	5,940,613,602	98,536,296
		老人福祉事業収益	184,934,711	184,811,909	122,802
		経常経費寄附金収益	500,000	100,000	400,000
		サービス活動収益計(1)	6,224,584,609	6,125,525,511	99,059,098
	費用	人件費	3,885,311,586	3,908,990,894	-23,679,308
		事業費	937,086,889	974,632,599	-37,545,710
		事務費	721,418,961	698,709,307	22,709,654
		利用者負担軽減額	29,131,508	26,229,802	2,901,706
		減価償却費	619,898,856	628,600,004	-8,701,148
		国庫補助金等特別積立金取崩額	-175,176,995	-175,516,298	339,303
	徴収不能引当金繰入	1,450,860	189,547	1,261,313	
	サービス活動費用計(2)	6,019,121,665	6,061,835,855	-42,714,190	
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	205,462,944	63,689,656	141,773,288	
サービス活動外増減の部	収益	借入金利息補助金収益	39,559,836	45,343,604	-5,783,768
		受取利息配当金収益	94,692	95,547	-855
		その他のサービス活動外収益	48,229,580	47,775,716	453,864
		サービス活動外収益計(4)	87,884,108	93,214,867	-5,330,759
	費用	支払利息	81,638,022	89,189,155	-7,551,133
		その他のサービス活動外費用	22,171,597	22,738,336	-566,739
		サービス活動外費用計(5)	103,809,619	111,927,491	-8,117,872
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	-15,925,511	-18,712,624	2,787,113	
	経常増減差額(7)=(3)+(6)	189,537,433	44,977,032	144,560,401	
特別増減の部	収益	施設整備等補助金収益	54,418,598	47,032,167	7,386,431
		固定資産売却益	0	999	-999
		特別収益計(8)	54,418,598	47,033,166	7,385,432
	費用	固定資産売却損・処分損	233,653	72,903	160,750
		国庫補助金等特別積立金積立額	54,418,598	47,032,167	7,386,431
	特別費用計(9)	54,652,251	47,105,070	7,547,181	
	特別増減差額(10)=(8)-(9)	-233,653	-71,904	-161,749	
	当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	189,303,780	44,905,128	144,398,652	
繰越活動増減差額の部		前期繰越活動増減差額(12)	4,344,641,220	4,299,736,092	44,905,128
		当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	4,533,945,000	4,344,641,220	189,303,780
		基本金取崩額(14)	0	0	0
		その他の積立金取崩額(15)	0	0	0
		その他の積立金積立額(16)	0	0	0
		次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	4,533,945,000	4,344,641,220	189,303,780

法人単位貸借対照表

令和 6年 3月31日現在

（単位：円）

	資 産 の 部				負 債 の 部		
	当年度末	前年度末	増 減		当年度末	前年度末	増 減
流動資産	2,289,487,784	2,391,077,313	-101,589,529	流動負債	2,823,566,488	2,280,187,842	543,378,646
現金預金	1,355,056,486	1,488,723,104	-133,666,618	短期運営 資金借入金	1,567,000,000	1,097,000,000	470,000,000
事業未収金	856,305,916	836,870,904	19,435,012	事業未払金	160,018,130	155,265,181	4,752,949
未収補助金	67,613,787	51,333,717	16,280,070	1年以内返済予定 設備資金借入金	669,683,000	668,413,000	1,270,000
未収収益	7,112,267	8,654,394	-1,542,127	未払費用	183,361,159	181,270,014	2,091,145
立替金	887,826	1,446,462	-558,636	預り金	64,144,417	1,439,610	62,704,807
前払費用	7,195,610	8,723,546	-1,527,936	職員預り金	15,350,262	14,489,474	860,788
仮払金	453,680	33,057	420,623	賞与引当金	164,009,520	162,310,563	1,698,957
徴収不能 引当金	-5,137,788	-4,707,871	-429,917	固定負債	6,233,631,809	6,843,274,956	-609,643,147
固定資産	14,551,026,145	14,447,155,734	103,870,411	設備資金 借入金	5,325,641,000	5,995,324,000	-669,683,000
基本財産	13,100,198,750	13,431,904,288	-331,705,538	退職給付 引当金	863,105,997	806,313,808	56,792,189
土地	4,938,469,422	4,726,503,361	211,966,061	長期預り金	44,884,812	41,637,148	3,247,664
建物	8,161,729,328	8,705,400,927	-543,671,599	負債の部合計	9,057,198,297	9,123,462,798	-66,264,501
その他の 固定資産	1,450,827,395	1,015,251,446	435,575,949	純資産の部			
土地	272,434,690	272,434,690	0	基本金	790,422,950	790,422,950	0
建物	340,511,779	350,015,222	-9,503,443	基本金	790,422,950	790,422,950	0
構築物	83,337,127	109,805,854	-26,468,727	国庫補助金等 特別積立金	2,458,947,682	2,579,706,079	-120,758,397
機械及び装置	6,241,149	8,586,577	-2,345,428	国庫補助金等 特別積立金	2,458,947,682	2,579,706,079	-120,758,397
車両運搬具	10,675,611	11,969,516	-1,293,905	次期繰越活動 増減差額	4,533,945,000	4,344,641,220	189,303,780
器具及び備品	98,973,375	83,914,043	15,059,332	次期繰越活動 増減差額	4,533,945,000	4,344,641,220	189,303,780
建設仮勘定	464,236,993	5,855,087	458,381,906	（うち当期活動 増減差額）	189,303,780	44,905,128	144,398,652
権利	322,560	322,560	0				
ソフトウェア	11,004,439	6,375,847	4,628,592				
長期貸付金	100,000,000	100,000,000	0				
長期預り金 積立資産	44,884,812	41,637,148	3,247,664				
差入保証金	3,801,000	4,335,020	-534,020				
長期前払費用	13,990,060	19,586,082	-5,596,022				
その他の 固定資産	413,800	413,800	0	純資産の部合計	7,783,315,632	7,714,770,249	68,545,383
資産の部合計	16,840,513,929	16,838,233,047	2,280,882	負債及び 純資産の部合計	16,840,513,929	16,838,233,047	2,280,882

職場環境要件の提示について

見える化要件に基づき、賃金以外の処遇改善に関する具体的な取組内容を下記に提示します。

入所促進に向けた取組	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	法人や事業所の経営理念やケア方針・人材育成方針、その実現のための施策・仕組みなどの明確化 事業者の共同による採用・人事ローテーション・研修のための制度構築 他産業からの転職者、主婦層、中高年齢者等、経験者・有資格者等にこだわらない幅広い採用の仕組みの構築 職業体験の受入れや地域行事への参加や主催等による職業魅力向上の取組の実施
資質の向上やキャリアアップに向けた支援	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	働きながら介護福祉士取得を目指す者に対する実務者研修受講支援や、より専門性の高い介護技術を取得しようとする者に対する喀痰吸引、認知症ケア、サービス提供責任者研修、中堅職員に対するマネジメント研修の受講支援等 研修の受講やキャリア段位制度と人事考課との連動 エルダー・メンター（仕事やメンタル面のサポート等をする担当者）制度等導入 上位者・担当者等によるキャリア面談など、キャリアアップ等に関する定期的な相談の機会の確保
両立支援・多様な働き方の推進	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	子育てや家族等の介護等と仕事の両立を目指す者のための休業制度等の充実、事業所内託児施設の整備 職員の事情等の状況に応じた勤務シフトや短時間正規職員制度の導入、職員の希望に即した非正規職員から正規職員への転換の制度等の整備 有給休暇が取得しやすい環境の整備 業務や福利厚生制度、メンタルヘルス等の職員相談窓口の設置等相談体制の充実
腰痛を含む心身の健康管理	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	介護職員の身体の負担軽減のための介護技術の修得支援、介護ロボットやリフト等の介護機器等導入及び研修等による腰痛対策の実施 短時間勤務労働者等も受診可能な健康診断・ストレスチェックや、従業員のための休憩室の設置等健康管理対策の実施 雇用管理改善のための管理者に対する研修等の実施 事故・トラブルへの対応マニュアル等の作成等の体制の整備
生産性向上のための業務改善の取組	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	タブレット端末やインカム等のICT活用や見守り機器等の介護ロボットやセンサー等の導入による業務量の縮減 高齢者の活躍（居室やフロア等の掃除、食事の配膳・下膳などのほか、経理や労務、広報なども含めた介護業務以外の業務の提供）等による役割分担の明確化 5S活動（業務管理の手法の1つ。整理・整頓・清掃・清潔・躰の頭文字をとったもの）等の実践による職場環境の整備 業務手順書の作成や、記録・報告様式の工夫等による情報共有や作業負担の軽減
やりがい・働きがいの醸成	<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の介護職員の気づきを踏まえた勤務環境やケア内容の改善 地域包括ケアの一員としてのモチベーション向上に資する、地域の児童・生徒や住民との交流の実施 利用者本位のケア方針など介護保険や法人の理念等を定期的に学ぶ機会の提供 ケアの好事例や、利用者やその家族からの謝意等の情報を共有する機会の提供

見える化要件とは賃金以外の処遇改善に関する具体的な取り組み内容を外部から見える形で公表することを意味します。